

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウイズ・ユー栗東小平井			
○保護者評価実施期間	2025年2月13日		～	2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	2025年2月13日		～	2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	建物の構造上、家で過ごしているような感じで過ごすことができる。	ゆったりとした過ごしを提供できるように、利用者様の人数を部屋で分けて支援を行っている。	施設にスヌーズレン室の導入を検討中。
2	土、祝、長期休暇は毎日クッキング、工作、お出かけのイベントを行っている。	晴れた日はできるだけ公園へ行き、外遊びをしている。	土、祝、長期休暇のイベントをよりよく工夫するため、ご家庭の意見を導入する。
3	定期的にご家庭と面談や児童の共有ができています。	保護者様にその日の出来事を送迎時やテキストでお伝えをしている。	ご家族や他施設との会議を増やし、共有できる内容を増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋数が多く、床の間などもあるため死角が多い。	死角で口の中に物を入れたり、ケガの恐れがあるため。	日頃から職員間で児童の特性を共有し、職員の立ち位置を工夫して死角をなくす。
2	土、祝、長期休暇のイベント内容が同じになってきている。	長期休暇や祝日に他施設への利用が増える児童がいたため、イベントで選んでいると考えられた。	ご家庭や他事業所の意見を聞き、ニーズに合ったイベントに改善していく。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されているが、全ご家庭に周知・説明が十分にできていない。	訓練やマニュアルはあるが、もしもに備え職員含め保護者様にも周知する必要があると考える。	まずは職員間でしっかり共有した後、保護者様にもいろいろな手段で共有していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ウィズ・ユース東小平井
------	-------------

公表日 2025年3月10日

利用児童数

33名

回収数

23名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	4	0	2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1	0	5	来所する児童と職員の人数がわからない。	具体的な一日の来所人数や職員の配置をお伝えします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1	0	3		引き続き来所する児童様に合わせて環境を整えていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1	0	4		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1	0	1		一定の評価をいただいているので、引き続き研修等で専門性を高めていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	0	2		公表について知らないご家庭もあるかと思えます。改めて案内します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	2	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	2	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	1	9	地域のパン販売など参加したことはないですが、お互いに交流されているのではないかなと思います。	交流のお伝え方法を工夫していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		契約時に説明をしています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1	0	1		定期的に面談を行い、ご家族へのアドバイスを行っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	2	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1	0	1		定期的に面談を行い、ご家族へのアドバイスを行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	6	0	4	・保護者会はされていますが、兄弟児の交流は個人的に望んでいません。 ・保護者向けの活動はあるが、兄弟向けのイベントがあるかは知らない。	兄弟への交流の場については、今後、検討します。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1	0	0		情報発信は弱いところがあるので、今後、検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2	0	7		訓練はしているものご家庭への伝達が不十分化と思われました。取り組みについて説明します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	3	0	8		”
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	4		小さなケガでも事故時は速やかにご家庭にご連絡させていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	0		イベント等、さらに楽しめるものにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0		満足いただいた結果だったので、引き続きご期待に応えられるようにしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ウィズ・ユース東小平井		公表日		2025年3月11日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4	1階と2階で分かれている。	特性に応じて活動スペースを分けているが、偏る場合がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		子どもに対して人員が不足する場合もある。安定した職員配置が課題。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	POPをつけたりして分かりやすいように配慮している。	左記に対してまだ十分でない箇所もあるので、引き続き整備していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		日常清掃で行き届いていない箇所も、清掃を仕組み化していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	コンディションに合わせて使えるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	4	職員間で情報の共有をするようにしている。	職員間で共有するノートを作る必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		評価の他にも常日頃からご家庭の意向を形にしていけるようにしていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	会議や朝礼等で意見を言える場を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		第三者による外部評価を検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年間スケジュールに基づいて、研修を実施している。	研修の習熟度を確認するために、レポートの提出等を検討している。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	公表されそれに基づき支援している。	作成、公表するにとどまらず、職員に内容を浸透させていきたい。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	行っている。	計画は広く職員の意見を聞きながら作成を進めていきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		作成した後も、支援計画をスタッフ全員で共有していきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	4		大まかにできているが、定期的に確認の場を持てるようにしていきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		定期的にあセスメントをとっているが、日々、様子を注視する視点を持っていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		移行支援、地域支援・地域連携には課題が残る。うまく地域の資源を活用したり、協力できる体制をつくっていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		管理者中心に立案を行っているので、広く意見を持つ場を持てるようにしていきたい。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		種類を増やしたり、既存のプログラムにも修正を加えていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		発達の段階に合わせて個別、集団のバランスを考えていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼を行い支援に入るようにしている。	非常勤職員は出勤時間がまばらなので、うまく情報の伝達ができるように考えていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		顔を合わせて振り返りができないこともあるので、ノート等、連絡ツールを活用したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	クラウドツールで記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	3	支援計画の作成のタイミングでモニタリングを実施している。	支援計画作成のタイミングの他、短いスパンでのモニタリングも検討していきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	組み合わせ支援するように心がけている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	行っている。	自らコミュニケーションがとりにくい児童様には、ご家族の意向を確認する。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4	必要に応じてケース会議に参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	下校時間等、必要な情報をいただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		現状、できていないので今後の課題としていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		今後に向けて検討する必要がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	地域の自立支援協議会や部会に参加して機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		他施設と一緒にイベントができるようにしたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	施設の代表が参加するようにしている。	参加できる人員の幅を広げていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	送迎時にできるだけ努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	他施設と合同で保護者会をしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	ご利用者様、ご家族の意向に沿いながら、作成するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		説明、同意は得ているが、業務の都合もありさらに丁寧な説明を心がけたい。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	定期的に面談や保護者会を実施していることと、気軽に相談できる環境づくりに努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	定期的に保護者会等、実施している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	何かあった際は管理者が中心となり、迅速に対応できるように心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	行事ごと等、LINEで案内をしている。その他、クラウドで予定をお伝えするようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	適切な対応を心がけている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	送迎時の報告や、LINE等で気軽に話ができるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		現状、できていないので今後の課題としていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	必要な研修を年間スケジュールに組み込んでいる。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	必要な研修を年間スケジュールに組み込んでいる。	BCPの委員会はあるが、もっと深く決めていく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		医師の指示書は得られていないので、必要が生じたら取得する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	必要な研修を年間スケジュールに組み込んでいる。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		ご家族への周知は弱いので、説明の機会を持ったり、具体的に決めていく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		行っているがヒヤリハットの案件が少ない。些細なことでも危険を察知する意識を高めたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	必要な研修を年間スケジュールに組み込んでいる。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	契約時に説明を行っている。	定期的に説明ができる機会を持てるようにしていく。	